

力を合わせ地域医療にまい進



中津胃腸病院 院長

深野 昌宏氏

消化器を中心とした急性期の患者の診療を行う。2020年11月～21年10月の手術件数は208件。内視鏡検査は上下部併せて3478件、超音波検査は5643件実施している。自身は日本外科学会認定外科専門医。4人の医師と共に消化器外科を担当する。「病氣を見逃さず、早期に発見し、きちんとした診断をつけて治療に結び付けることが重要」と、臨床検査技師や放射線技師らと連携し、CT、エコー、内視鏡など新しい機器を導入して

検査を実施している。

急性期だけでなく、リハビリや嚥下訓練などが必要な患者にも対応。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士らが、自宅で生活できるようにするための訓練をサポートする。地域包括ケア病棟として、他の病院で治療を受けた患者も、消化器の病気に限らず受け入れている。

併せて、14床の緩和ケア病棟も運営。中津、宇佐両市を中心に、豊後高田市や福岡県からも患者を受け入れ、最期を

病院DATA

●診療科目

外科・消化器外科・内科・消化器内科・肛門外科
リハビリテーション科・疼痛緩和内科
麻酔科(深野昌宏・滝口哲)

●診療時間

平日／9:00～12:00、14:00～17:30
土曜／9:00～12:00

●休診日

土曜午後、日曜、祝日

※急患の方はこの限りではありません



チームワークを大切に地域医療にまい進

みとっている。訪問診療も実施しており、2人の医師が、地域の医療機関や訪問看護ステーションなどと連携して患者の自宅を回り、診療に当たる。在宅のがん患者のみとりにも対応している。

新型コロナウイルス感染症では、協力病院として陰圧装置を設置した専用病棟を設け、軽症、中等症の患者を受け入れた。一般診療と動線を分けた発熱患者専用の外来を設置するなど、感染対策に余念がない。県北地区の他の協力病院や感染症指定病院と緊密

に連携しながら、医療体制を整えている。

地域で果たす役割は大きい「現場の声をくみ取りながら、スタッフ全員が存分に力を発揮できるような職場をつくり、地域の要望に応えていきたい」と気を引き締める。大切にするのはチームワーク。「指示を出すのは医師だが、よい医療のためには、みんなで患者さんを診ていくことが大切」と穏やかに語る。厚い信頼を寄せる各部門のスタッフと力を合わせ、地域医療にまい進する。



医療法人社団 中津胃腸病院

中津市大字永添510番地
TEL0979-24-1632
<https://n-icho.or.jp>

